

公表 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 児童通所支援センター クオレ美唄

公表日 2025年1月20日
利用児童数 5人 回収数 1

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	1					
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	1					
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	1					
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	1					
適切 な支 援の 提供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	1					
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	1					
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	1					
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	1					
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	1					
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	1					
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他の子どもと活動する機会がありますか。					1	事業所以外での交流はありませんが、公園遊び等では交流する事があります。
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	1					
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	1					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。				1		保護者様からの要望があった際には検討させていただきます。
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	1					
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。			1			保護者様からの要望があった際には都度対応しています。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	1					
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいの支援がされていますか。				1		現在、父母の会やきょうだいの交流の機会は設けていません。
	19 子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	1					
	20 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	1					
	21 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。				1		定期的にクオレだよりを発行し、活動内容や日々の様子、行事等をお伝えしています。
22 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	1						
非 常 時 等 の 対 応	23 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	1					
	24 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	1					
	25 事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	1					
	26 事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。				1		事故があった際には、その都度状況を説明しております。
満 足 度	27 子どもは安心感をもって通所していますか。	1					
	28 子どもは通所を楽しみにしていますか。			1			楽しく通所して頂ける様、スタッフ一同支援致します。
	29 事業所の支援に満足していますか。	1					

公表	事業所における自己評価総括表
----	----------------

○事業所名	児童通所支援センター クオレ美唄		
○保護者評価実施期間	2024年 10月 25日		～ 2024年 11月 22日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 1
○従業者評価実施期間	年 月 日		～ 年 月 日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2024年 12月 14日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	フロアはバリアフリーになっており、広く開放的な空間となっている。	<ul style="list-style-type: none"> ・大きく体を動かして行う活動やボール遊び等、広く空間を使用して行う活動が可能。 ・ワンフロアで死角も少ない為、スタッフの目が届き易い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・活動中の声などは全体に伝わる為、静と動の活動の区別をし、声掛けや注意点についての確認を行う事で双方が楽しく活動に取り組める様配慮する。
2	感覚統合遊具設備がある。	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に活動に取り入れ、遊びを通して感覚を養い、バランスのとり方や姿勢保持、認識力や状況判断等の適応力を育てる支援を行っています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・他者との関わり方や、譲り合いや助け合いの気持ちも同時に養っていければと考えています。
3	作業療法士が常勤している。	<ul style="list-style-type: none"> ・専門知識のあるスタッフがお子様の様子をアセスメントし、評価する事により、強みや困り感に対する支援の仕方が明確になります。それを基にスタッフが統一した見解を持ち、関わる事ができます。 	

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	玄関が狭く、時間帯によっては混雑してしまう。	建物の構造上、仕方のない事と捉えています。	<ul style="list-style-type: none"> ・混雑が予想される場合は、事前にその旨利用児にも周知し、どの様にしたらトラブルなく入る事ができるか一緒に検討する事で注意喚起を促している。
2			
3			

公表 事業所における自己評価結果

事業所名		児童通所支援センタークオレ美咲					公表日	令和7年1月20日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		スペースの共有が難しい場面では、パーティションで仕切る事や屋外での活動を取り入れる等して工夫しています。			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		個別の対応ができる様、職員配置を多くしています。			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		建物の構造上、玄関のバリアフリーは難しい現状がありますが、活動空間についてはお子様に分かり易く遊具を配置する等、視覚的に分かり易く提示や掲示を行っています。	バリアフリー化が難しい場所については、スタッフが補助しお子様に危険のない様努めてまいります		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		毎日の清掃や、換気、定期的な消毒等、清潔を心がけております。			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		個室の利用や、パーティションで仕切る等、必要に応じて使用しております。			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		毎月スタッフ全員参加の会議を設け、意見を出しあい、日々の支援に活かしております。			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		業務の改善や向上の参考にさせて頂いております。			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		毎月のスタッフ会議にて、業務全般についての見直し等を行い、業務改善に繋げております。			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	第三者による外部評価は実施しておりませんが、保護者様からの評価結果は改善の参考にさせて頂いております。			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		自治体主催の研修以外にも、様々な研修に希望者を募って参考にしております。また、事業所内でのスタッフ研修も行っております。			
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○					
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○					
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		スタッフ会議にてお一人お一人についての情報共有や日々の様子について話した内容を加味した上で作成しております。			
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○					
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○					
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○					
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		スタッフ会議にて全員で立案しています。			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		お一人お一人に合わせた課題の設定を行い、様々なバリエーションが持てる様準備を行っております。	様々な特性のお子さんが利用されている為日課の固定は行いつつ、レク活動や行事等を取り入れ、同じ活動ばかりが続かない様に努めます。		

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		毎日、その日利用されるお子様の直近の状況をスタッフ間で引継ぎし、共有しております。	不足する事柄に関しては、別途引継ぎノートを活用し共有しています。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		送迎後重要な事柄については共有しますが、それ以外については、上記同様、支援開始前の引継ぎにて振り返りを行っています。	不足する事柄に関しては、別途引継ぎノートを活用し共有しています。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○			
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○			
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		会議の内容にふさわしいスタッフが参画する様努めています。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		必要に応じて行っております。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		必要に応じて行っております。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		必要に応じて行っております。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	○		必要に応じ、連携して情報共有や助言を受けております。	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	○			事業所以外での交流はありませんが、保護者様からの要望があった際には、検討致します。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		送迎時に、その日の様子をお伝えしています。時間がない時には電話やメール等で情報を共有する事で、共通理解ができる様努めています。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○			保護者様からの要望があった際には、検討させていただきます。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時にご説明させて頂いております。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		定期的にご本人や保護者からの意向をお聞きし、事業所での様子を踏まえて作成しております。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		定期的ではありませんが、送迎時や電話、メール等で保護者様からご相談頂いた際には、お聞きし対応させて頂いております。	ご要望があれば、随時行ってきたいと思っております。

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○		現在、父母の会やきょうだいの交流の機会は設けておりません。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。		○		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。		○	定期的にクオレだよりを発行し、活動内容や日々の活動や行事の様子をお伝えしています。	今年から新たにInstagramを開設し、美唄の様子だけでなく、全事業所の様子をお伝えしております。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。		○		
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。		○		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○	見学はいつでも受け入れしております。	地域住民を招待する様な行事は行っておりません。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。		○	毎年訓練を行っております。また、お便り等で訓練の様子をお伝えしております。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。		○		
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。		○	予防接種以外の事柄に関しては、必要なお子様に対しては、保護者様と連携し、スタッフ間で情報共有しております。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		○	半年に一回、変更や新たなアレルギーがないかお伺いし、おやつ提供時にはアレルギー表示を行っております。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。		○	スタッフ研修を行っております。	定期的に確認し合う事で、安全管理の徹底に努めます。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。		○	毎年、緊急時の事業所対応という内容で、各ご家庭に緊急時の対応についてお知らせしております。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。		○	スタッフ会議や日々の引継ぎ時に情報共有と再発防止について検討しております。	
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。		○	スタッフ研修や日々の引継ぎ時に、定期的に確認を行っております。		
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。		○	身体拘束は行っていませんが、起こり得る可能性がある場合には、事前に保護者様からの了承を得た上で、支援計画への記載を行っております。		

公表	保護者等からの事業所評価の集計結果
----	-------------------

事業所名	児童通所支援センター クオレ美唄
------	------------------

公表日 2025年1月20日

利用児童数 21人

回収数 10

	チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応	
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない			
環境・ 体制 整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	7	3			見に行くことが無いので、最新を知らない ・中に入る機会がほほないのでよくわからないけど、見学に行ったときは狭いとは思わなかったので	フロアはほほ死角がなく、開放感があります。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	6	3		1		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	8		1	1	玄関が狭い	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	9			1	見学に行った最初しか知らない	
適 切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	8	2				支援会議や引継ぎを通じて、全スタッフが共通認識をもち支援をしています。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	8	2				
	7	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	9	1				
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	8	2				
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	8	2				
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	5	4		1	日々の活動(レク)の予定があらかじめわかると親子ともに安心するかなと思います。	日々の活動の予定については変動する事がありますが、長期休み等についてはあらかじめお伝えする様に致します。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	1	3	2	4		事業所以外での交流はありませんが、公園遊び等では交流する事があります。
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	9	1				
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	8	2				
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会が行われていますか。	4	1	3	2		保護者様からの要望があった際には検討させていただきます。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	9	1				
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	3	6	1			保護者様からの要望があった際にはその都度対応しています。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	7		1	2		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされているか。	1	2	4	3		現在、父母の会やきょうだいの交流の機会は設けていません。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	6	3	1			
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	8	2				
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	7	2		1		定期的にクオレだよりを発行し、活動内容や日々の様子、行事等をお伝えしています。
22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	10						
非 常 時 等 の 対 応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	8	2				毎年訓練を行っております。また、お便り等で訓練の様子をお伝えしています。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	10					
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	9	1				
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	10					
満 足 度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	10					
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	9	1				
	29	事業所の支援に満足していますか。	5	5			学校で給食を食べて、下校時間が13時から13時30分の間の時、ちょっと困っています。	保護者様からの要望があった際には検討させていただきます。

公表	事業所における自己評価総括表
----	----------------

○事業所名	児童通所支援センター クオレ美唄		
○保護者評価実施期間	2024年 10月 25日		～ 2024年 11月 22日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	21	(回答者数) 10
○従業者評価実施期間	2024年 12月 1日		～ 2024年 12月 10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	2024年 12月 16日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	フロアはバリアフリーになっており、広く開放的な空間となっている。	<ul style="list-style-type: none"> 大きく体を動かして行う活動やボール遊び等、広く空間を使用して行う活動が可能。 ワンフロアで死角も少ない為、スタッフの目が届きやすいです。 	<ul style="list-style-type: none"> 活動中の声などは全体に伝わる為、静と動の活動の区別けをし、声掛けや注意点についての確認を行う事で双方が楽しく活動に取り組める様配慮する。 スペースの共有が難しい場合は、パーテーション等で仕切る事や屋外での活動を取り入れ工夫しています。
2	感覚統合遊具設備がある。	<ul style="list-style-type: none"> 定期的に活動に取り入れ、遊びを通して感覚を養い、バランスのとり方や姿勢保持、認識力や状況判断等の適応力を育てる支援を行っています。 	<ul style="list-style-type: none"> 他者との関わり方や、譲り合いや助け合いの気持ちも同時に養っていければと考えています。
3	作業療法士が常動している。	<ul style="list-style-type: none"> 専門知識のあるスタッフがお客様の様子をアセスメントし、評価する事により、強みや困り感に対する支援の仕方が明確になります。それを基にスタッフが統一した見解を持ち、関わる事ができます。 	

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	玄関が狭く、時間帯によっては混雑してしまう。	建物の構造上、仕方のない事と捉えています。	<ul style="list-style-type: none"> スタッフ間で状況を共有し、複数人で対応する等安全に出入りができる様工夫しています。 混雑が予想される場合は、事前にその旨利用児にも周知し、どの様にしたらトラブルなく入る事ができるか一緒に検討する事で注意喚起を促しています。
2			
3			

公表 事業所における自己評価結果

事業所名		児童通所支援センタークオレ美唄			公表日	令和7年1月20日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		スペースの共有が難しい場面では、パーティションで仕切る事や屋外での活動を取り入れる等して工夫しています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	○		個別の対応ができる様、職員配置を多くしています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		建物の構造上、玄関のバリアフリーは難しい現状がありますが、活動空間についてはお子様に分かり易く遊具を配置する等、視覚的に分かり易く提示や掲示を行っています。	バリアフリー化が難しい場所については、スタッフが補助しお子様に危険のない様努めてまいります
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		毎日の清掃や、換気、定期的な消毒等、清潔を心がけています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		個室の利用や、パーティションで仕切る等、必要に応じて使用しています。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		毎月スタッフ全員参加の会議を設け、意見を出しあい、日々の支援に活かしております。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		業務の改善や向上の参考にさせて頂いております。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		毎月のスタッフ会議にて、業務全般についての見直し等を行い、業務改善に上げております。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	第三者による外部評価は実施しておりませんが、保護者様からの評価結果は改善の参考にさせて頂いております。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		自治体主催の研修以外にも、様々な研修に希望者を募って参考にしております。また、事業所内でのスタッフ研修も行っております。	
適切な	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		スタッフ会議にてお一人お一人についての情報共有や日々の様子について話した内容を加味した上で作成しております。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		スタッフ会議にて全員で立案しています。	

支 援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		お一人お一人に合わせた課題の設定を行い、様々なバリエーションが持てる様準備を行っております。	様々な特性のお子さんが利用されている為日課の固定は行いつつ、レク活動や行事等を取り入れ、同じ活動ばかりが続かない様に努めます。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		毎日、その日利用されるお子様の直近の状況をスタッフ間で引継ぎし、共有しております。	不足する事柄に関しては、別途引継ぎノートを活用し共有しています。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○	○	送迎後重要な事柄については共有しますが、それ以外については、上記同様、支援開始前の引継ぎにて振り返りを行っています。	不足する事柄に関しては、別途引継ぎノートを活用し共有しています。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○		課題や集団遊び、自由遊びや屋外活動等を通じて、必要に応じ組み合わせ活動を行っています。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		こども主導の活動や、スタッフ主導の活動がありますが、参加の有無も含め発信できる環境作りを行っています。また、理由も添えて伝える練習も行っていきます。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		会議の内容にふさわしいスタッフが参画する様努めています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		必要に応じて行っています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		その都度行っています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		必要に応じて行っています。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		必要に応じて行っています。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○		地域の児童発達支援センターとは必要に応じ情報を共有しています。また、地域の研修会にも参加しています。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○	○		事業所以外での交流はありませんが、保護者様からの要望があった際には、検討致します。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○			
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		送迎時に、その日の様子をお伝えしています。時間がない時には電話やメール等で情報を共有する事で、共通理解ができる様努めています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○	○		保護者様からの要望があった際には、検討させていただきます。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時にご説明させて頂いています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		定期的にご本人や保護者からの意向をお聞きし、事業所での様子を踏まえて作成しています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○			

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		定期的ではありませんが、送迎時や電話、メール等で保護者様からご相談頂いた際には、お聞きし対応させて頂いています。	ご要望があれば、随時行っていきたく思います。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		○		現在、父母の会やきょうだいの交流の機会は設けていません。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		定期的にクオレだよりを発行し、活動内容や日々の活動や行事の様子をお伝えしています。	今年から新たにInstagramを開設し、美唄の様子だけでなく、全事業所の様子をお伝えしています。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○	見学はいつでも受け入れしています。	地域住民を招待する様な行事は行っていません。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		毎年訓練を行っております。また、お便り等で訓練の様子をお伝えしています。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		予防接種以外の事柄に関しては、必要なお子様に対しては、保護者様と連携し、スタッフ間で情報共有しています。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		半年に一回、変更や新たなアレルギーがないかお伺いし、おやつ提供時にはアレルギー表示を行っています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		スタッフ研修を行っています。	定期的に確認し合う事で、安全管理の徹底に努めます。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		毎年、緊急時の事業所対応という内容で、各ご家庭に緊急時の対応についてお知らせしています。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		スタッフ会議や日々の引継ぎ時に情報共有と再発防止について検討しています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		スタッフ研修や日々の引継ぎ時にて、定期的に確認を行っています。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		身体拘束は行っていませんが、起こり得る可能性がある場合には、事前に保護者様からの了承を得た上で、支援計画への記載を行っています。		